

2014年5月に開催いたしました個人投資家様向け会社説明会の主な質疑応答(要旨)を以下にご案内いたします。

Q.海外IR活動も積極的にやっているとのことですが、外国人投資家の反響はどうですか。

A.アジア、ヨーロッパを中心に、年に数回ロードショーを実施しています。

ヨーロッパの投資家からは、日本のコンテンツの重要性や当社の知的財産を主軸としたビジネスモデルについて、長期的な視点から一定の評価をいただいています。

Q.(株)ロデオとの提携解消の狙いと、今後の方針についてお聞かせください。

A.サミー(株)や(株)ロデオとは、事業提携関係全般のあり方について慎重に協議を重ねている状況下であり、現時点でコメントは控えさせていただきます。

今後の方針につきましては、新たに業務提携を開始した遊技機メーカー2社はもとより、新たな市場を創造していくという想いをもつパートナー企業とともに、既存ファンの拡大、新規ファンの創出に貢献する商品を作っていきます。

Q.アニメーションにおける収益はどのように見えていますか。

A.当社では、アニメーションの分野から大きな収益を得るというよりも、アニメーション作品をテレビや映画で放送し認知度を高めつつ、デジタルコンテンツ化したアニメーションをマーチャンダイジングの分野で有効活用し、収益の最大化を図っていきたいと考えています。

Q.当期の業績予想は売上高1,000億円、営業利益50億円となっていますが、次期以降の業績は回復するのでしょうか。またその根拠を教えてください。

A.新たに提携を開始した遊技機メーカーのラインが拡充されるほか、既存提携メーカーから複数のタイトルが発売されることを前提としています。

2016年3月期のタイトル数は20機種、2017年3月期のタイトル数は25機種へと増加する予定です。このため、次期以降、業績は回復すると見えています。